

項目	内容
名称	インドナガコショウ、ヒハツ [英]Long pepper、jaborandi pepper、Indian long pepper [学名]Piper longum L.
概要	インドナガコショウは、フィリピンやベトナム、インドネシアなどに自生する常緑蔓性木本である。未熟な果穂を乾燥させ、香辛料として使用してきた。同属のジャワナガコショウ (<i>Piper retrofractum</i> Vahl.) をヒハツと呼ぶこともある。
法規・制度	■ 食薬区分 ・インドナガコショウ (ヒハツ) 果穂：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・セスキテルペン (ジンギベレン)、アルカロイド (ピペロラクタムA、C、D、ピペルノナリン、ピペリン、ブラキスタミドD) などを含む (102)。
分析法	・インドナガコショウ抽出物をUHPSFC-MSで分析した報告がある (PMID:31260989)。
有効性	

ヒ ト で の 評 価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
(101) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修
(102)健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規
[\(PMID:31260989\) Food Chem. 2019 Nov 15;298:125067.](#)